

病変部の早期発見をサポート！

通常画像と FICE 画像が比較できる「デュアルモード機能」を新搭載

アドバンシア
フルデジタル電子内視鏡システム「Advancia」の最上位プロセッサー
「VP-4450HD」

● 新発売 ●

平成 23 年 2 月 1 日

富士フイルム株式会社(社長:古森 重隆)は、大学病院や地域中核病院などの高度な診断・治療ニーズに応えるフルデジタル電子内視鏡システム「Advancia(アドバンシア)」の最上位プロセッサー「VP-4450HD」を、2月1日より富士フイルムメディカル株式会社(社長:平井 治郎)を通じて発売いたします。「VP-4450HD」は、波長パターンを自由に選択し画像処理を行うことによって、通常画像から分光画像^{※1}をリアルタイムに生成する分光画像処理機能「FICE」^{※2}を標準搭載し、さらに通常画像とFICE画像を同時に画面表示^{※3}できる「デュアルモード機能」を備えたプロセッサーです。通常画像とFICE画像を見比べながら検査することができるため、病変部の早期発見が期待できます。

近年、内視鏡検査では、病変部のさらなる早期発見と診断精度の向上を図るため、分光画像を用いた観察や診断への期待が高まっています。富士フイルムは、平成 20 年 11 月 1 日に、「FICE」を標準搭載した「VP-4450」を発売しました。「VP-4450」は、発売以来、医療施設より「病変の拾い上げ(スクリーニング)診断に有用である」、「病変部の早期発見に有効である」などと、大変好評をいただいています。

電子内視鏡システムのプロセッサーは、内視鏡から得られた画像データに色補正などの画像処理を行い、これをビデオ信号に変換する役割を担うものです。今回発売する「VP-4450HD」は、通常画像とFICE画像を同時に1つの画面に表示する「デュアルモード機能」^{※3}を新たに搭載しました。この機能は、通常画像とFICE画像を見比べながらの検査を可能とするため、小さな病変部の早期発見、正常部と病変部の境界線の正確な把握などをサポートします。

また、「VP-4450HD」は、組織の構造や微妙な色合いの変化などを強調する画像処理機能をさらに強化しています。例えば、食道や胃、大腸などを観察する際に、全体の彩度を落とさずに画像を強調したり、これまで見えにくかった胃粘膜上の集合細静脈(RAC)^{※4}を内視鏡を近づけなくても高精細に描写することができます。さらに、DVI^{※5}端子とHD-SDI^{※6}端子を2系統ずつ搭載。高画質な画像をHDモニターに映し出したり、HDレコーダーに記録することができます。

富士フイルムは、内視鏡のみならず、ESD^{※7}などで使用される処置具や内視鏡洗浄消毒システムなど、内視鏡関連製品のラインアップを拡充しています。「先進・独自の技術をもって、人々のクオリティ オブ ライフのさらなる向上に寄与していく」という企業理念のもと、重点・成長分野のメディカル・ライフサイエンス事業の取り組みを加速させ、医療の質や効率の向上、人々の健康増進に貢献していきます。

- ※1 特定波長で得られる画像。組織の性状などを際立たせる際に使用。
- ※2 Flexible spectral Imaging Color Enhancementの略。
- ※3 動画のみ対応。
- ※4 Regular Arrangement of Colleting venulesの略。毛細血管が集合して出来る細い静脈。
- ※5 Digital Visual Interface の略。コンピュータとディスプレイを接続するためのインターフェース規格の1つ。
- ※6 High Definition Serial Digital Interface の略。放送用ハイビジョン VTR で多く採用されている信号規格。
- ※7 Endoscopic Submucosal Dissection の略。食道・胃・大腸の内側の粘膜層にとどまっているがん組織などの病変部を開腹することなく内視鏡で観察しながら、病変部の粘膜下層を切開・剥離する手技。

記

1. 品名 : プロセッサ VP-4450HD

薬事販売名: 内視鏡ビデオ画像プロセッサ、薬事届出番号: 14B2X10002A0V009

2. 発売日: 平成 23 年 2 月 1 日

3. 主な特長:

(1) 医師の診断を強力にサポートする「デュアルモード機能」を新搭載

- 通常画像と FICE 画像を同時に 1 つの画面に表示する「デュアルモード機能」を新搭載。通常画像と FICE 画像を見比べながらの検査を可能とするため、小さな病変部の早期発見、正常部と病変部の境界線の正確な把握などをサポートします。

(2) 画像処理機能をさらに強化

- 構造強調や色彩強調などの画像処理機能をさらに強化。例えば、食道や胃、大腸などを観察する際に、全体の彩度を落とさずに画像を強調したり、これまで見えにくかった胃粘膜上の集合細静脈 (RAC) を内視鏡を近づけずに高精細に描写することができます。
- 部位などの観察対象の明るさに応じて、シャッタースピードを 1/200、1/100、1/60 の中から自動設定。明るく、ブレの少ない画像を提供できます。

(3) DVI 端子と HD-SDI 端子を 2 系統ずつ搭載

- DVI 端子と HD-SDI 端子をそれぞれ 2 系統搭載しているため、使い勝手が大幅に向上。HD モニターや HD レコーダーに接続でき、医療施設のニーズに適した内視鏡システムを構築することができます。
- 2 つのモニター上に、フルデジタルの迫力のある高画質な画像を同時に映し出すことができるため、検査室と離れた場所で行われるライブ中継や医療カンファレンスなどで威力を発揮します。
- HD レコーダーへの接続により、画質を劣化させずに記録することができます。

4. 主な仕様:

主な機能	FICE、色調調整、色彩強調、輪郭強調、電子ズーム、測光切替(オート/ピーク/平均の3モード)、シャッタースピード自動調整、ブレ軽減、コンパクトフラッシュメモリー記録、分光画像(FICE 画像)通常画像同時記録機能、デュアルモード表示
映像信号出力	DVI:2、HDTV:2、RGB:2、S ビデオ:1、NTSC:1
電源	AC100V 50-60Hz 0.5A
外形寸法	390(W) × 105(H) × 490(D)mm
質量	9.0kg

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

(報道関係) 富士フイルム株式会社 広報部

TEL 03-6271-2000

(お客様) 富士フイルムメディカル株式会社 営業推進本部 マーケティング部 TEL 03-6419-8033

インターネットホームページアドレス <http://fujifilm.jp/business/healthcare/>